

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回入間市人権教育推進協議会
開 催 日 時	令和6年3月11日(月) 午後2時00分開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	斉藤俊明
出席委員(者)氏名	田部井 洋 有ヶ谷かおり 杉本 誠 斉藤俊明 木村仁美 笹尾 彰 橋野弘美 渡辺美恵子 岡崎幸子 枡川典生 宮澤聖二
欠席委員(者)氏名	吉田穂高 前畑哲也 鈴川通久 吉田輝子
説明者の職氏名	浅川社会教育課課長 片寄社会教育課副主幹 田中教育センター主幹 上原人権推進課課長
会 議 次 第	第3回人権教育推進協議会 1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 入間市人権教育推進協議会広報紙の最終確認 (2) 次号作成に向けて 4 報告事項 5 その他 6 閉会
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部部長、佐藤教育部次長、浅川社会教育課課長 奥村社会教育課主幹、片寄社会教育課副主幹、浅見社会教育指導員 田中教育センター主幹、上原人権推進課課長

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 第 3 回 人 権 教 育 推 進 協 議 会

##### 1 開 会

##### 2 あいさつ

齊藤人権教育推進協議会会長

##### 3 協 議 事 項

###### ( 1 ) 入 間 市 人 権 教 育 推 進 協 議 会 広 報 紙 の 最 終 確 認

###### ① 確 認 内 容

・ 誤字、脱字、文法の誤りの確認

###### ② 今 後 の 流 れ

3月11日 広報紙最終確認

～3月21日 印刷（施設配付分） 約200部

3月22日～ 公開開始（HPに周知）

###### ③ 活 用

- ・ 市役所、小中学校、公民館等に設置 ・ 入間市公式LINEで小中学校保護者へ周知
- ・ 入間市公式ホームページでの周知活動
- ・ 各種会議で配付、他市の人権教育担当部局への送付・周知活動

###### ( 2 ) 次 号 作 成 に 向 け て

###### ① 構 成

- ・ 今年度の課題を踏まえて、第1回会議にて検討
- ・ 人権作文については、継続して掲載

###### ② 発 行 ま だ の 流 れ

- ・ 第1回会議にて検討

##### 4 報 告 事 項

###### ① 令 和 5 年 度 社 会 教 育 課 に お け る 人 権 教 育 推 進 事 業

浅川課長報告

###### ② 令 和 5 年 度 学 校 教 育 課 に お け る 人 権 教 育 推 進 事 業

田中主幹報告

###### ③ 令 和 5 年 度 人 権 推 進 課 に お け る 事 業

上原課長報告

・ LGBTQ講演会は来年度も継続

・ 全国中学生人権作文コンテストへ来年度は全校参加を

##### 5 そ の 他

###### ① 任 期 満 了 お 礼

浅見教育部部長

###### ② 人 権 教 育 推 進 協 議 会 委 員 の 公 募

###### ③ 令 和 6 年 度 入 間 市 人 権 教 育 実 践 報 告 書

##### 6 閉 会

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
齊藤会長 片寄副主幹	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 入間市人権教育推進協議会広報紙の最終確認</p> <p>はじめに事務局より説明をお願いする。</p> <p>広報紙の修正点であるが、大きな変更点はなく、資料1ページに記載したとおりである。今回の協議は最終校正であるため、誤字脱字や文法の誤りのチェックを中心にお願いする。</p>
齊藤会長 笹尾委員	<p>発行については、本日の協議を受け3月22日に公開という形にしたい。活用方法については、市役所や教育施設に設置する。また、入間市公式ホームページ、入間市公式ラインを使いながら周知活動を行う。また、他市町の人権教育担当部局へ広報紙データを送り、周知を依頼する。</p> <p>何か質問、意見はあるか。</p> <p>4ページ「トピック」の2023年(令和5)となっているが、(令和5年)とした方がよい。ただし、ここだけ西暦と和暦の併記なので、和暦でよいのではないか。入間市の公文書は和暦で統一されているのか。</p>
片寄副主幹 齊藤会長 片寄副主幹 木村委員	<p>2023年の西暦表記はここだけなので、削除して和暦の表記にする。</p> <p>市では和暦なのか、それとも西暦の併記なのか。</p> <p>西暦を併記しているのは少ないので、和暦で統一する。</p> <p>和暦で統一でよい。</p>
齊藤会長 笹尾委員	<p>国際的には西暦であると思うが、日本では和暦が主流である。記事については、西暦と和暦の併記の方がわかりやすい。</p> <p>記事について併記するのであれば、4ページ中段の平成も西暦との併記になるが、文字が多くなるので和暦での統一でもよい。</p>
浅川課長 齊藤会長	<p>市役所の文書は和暦なので、和暦で統一したい。</p> <p>西暦と和暦の併記ではなく、和暦で統一する。</p>
木村委員	<p>他に質問、意見はあるか。</p> <p>2ページのヤングケアラーと3ページの人権作文に背景色があるのは、何か意図があるのか。</p>
片寄副主幹 木村委員 齊藤会長	<p>2ページは色を分けて見やすくするためである。</p> <p>2ページは色をつけないほうが、3ページの人権作文が目立つ。</p> <p>2ページは白で、3ページは黄色という意見だが、他に意見はあるか。</p>
岡崎委員 齊藤会長 片寄副主幹	<p>作文を活かすという意味ならよいが、このままの方が紙面が明るくてよい。</p> <p>ホームページに載せる場合、色はどうなるのか。</p> <p>この色のまま載る。</p>
齊藤会長 浅川課長 片寄副主幹	<p>ホームページに載せる場合、背景の色は変えられるのか。</p> <p>変えることはできる。</p> <p>背景の色は自由に変えられる。</p>

齊藤会長	このままでよいという意見と変えたほうがよいという2つの意見が出ている。
岡崎委員	人権作文もヤングケアラーも大事な内容であるので、このままでよい。
齊藤会長	ホームページアドレスの色は蛍光色になっている。
浅川課長	皆さんの意見で、どんな色にでもできる。
有ヶ谷委員	このままの黄色ベースがよい。
齊藤会長	好みの問題もあるが、このままで良いと思う方、挙手を願う。 (挙手多数)
齊藤会長	挙手多数ということで、このままで変更なしとする。
宮澤委員	きれいにできている。ホームページアドレスも蛍光表記していただいた。背景色はどうかと思ったが、皆さんの意見でよい。
齊藤会長	西暦を和暦のみと変更、それ以外は変更なしとする。
	(2) 次号作成に向けて
齊藤会長	構成と発行について、事務局より説明をお願いします。
片寄副主幹	2点の協議をお願いします。1点目は次年度の構成である。令和5年度の内容を踏まえ、令和6年度はどのようなものを掲載したらよいかということである。これについては、案を出していただき、令和6年度第1回の会議で決定していきたい。
	2点目は、発行までの流れについてである。今年度を基に考えていただきたい。
	本日は結論を出すのではなく、委員の意見を聞いて、令和6年度の第1回会議で決定する。第3号の発行までの流れについては、ほぼ第2号と同様の流れと考えている。
齊藤会長	1点目の次年度の構成について、皆さん3月で任期が終わるが、これまで2回発行した経験を踏まえて、何か意見はあるか。まずは広報紙を発行することについて確認したい。
宮澤委員	令和3年度まで提言書を作っていたが、令和4年度から川越市の広報紙を参考にして、「人権いるま」の発行に切り替えた。このときに、発行回数や内容を検討して広報紙を発行することとした。
	構成の内容については、令和5年度の内容を検討したときに出た課題を紹介していただきたい。
木村委員	「人権いるま」を発行した後、読んだ方からの反応を教えてください。「人権いるま」を発行することには賛成である。啓発という観点から良いと思うが、どのくらい市民に届いているのか知りたい。
橋野委員	同和問題が入っているので、是非取り上げていきたい。
齊藤会長	提言書は2年ごとに作成しており、人権問題をかなり網羅していたので、広報紙に切り替えた。現在の委員で2回発行したが、今後の方向性について、何か意見はあるか。
杉本委員	ここまで2回発行したので、続けていきたい。広報紙について、まだまだ課題もあったので続けたほうがよい。
枅川委員	広報紙は、子どもから高齢者まで見やすい内容になっているので、形式はこれでよ

田部井委員	い。今までの提言書とはちがうテーマを取り上げてよい。人権作文は小中学生が対象となっているが、高校生はどうなのか。
柘川委員	高校では人権講演会などを行っている。その中で感想や意見を書かせているが、人権教育という形で作文は行っていない。
齊藤会長	小中学生の人権作文を継続するメリットもあるが、違う年代の意見を取り上げることもよい。
笹尾委員 宮澤委員	「人権いるま」の第3号・4号を作成することを、次の委員の方に引き継ぐ。内容については、これまでの課題を取り上げる。また、人権作文については掲載する方向で引き継ぐ。課題について、何か意見はあるか。
齊藤会長	内容について、あまり縛り付けないほうがよい。次の委員に考えてもらう。 この場で課題を出すのではなく、新年度の第1回で事務局から課題を出してもらうのが良い。
片寄副主幹 齊藤会長 浅川課長	新しい委員へ、「人権いるま」の第3号・4号を作成すること、人権作文を掲載することを引き継ぐ。発行回数や掲載する人権作文の数は、新しい委員に任せる。構成については、以上とする。 次に、発行までの流れについて、何か意見はあるか。 今年は協議会を3回実施したが、2回目と3回目の間にもう1回実施すれば、皆さんの意見をもっと取り入れられる。4回の実施は、予算的に難しいか。
齊藤会長	予算は3回分である。 意見交換をしてよい広報紙を作るには、4回実施できるとよい。 メールや書面でやり取りをしてフォローする方法もある。2回と3回の間に行うなど次年度の課題としたい。
岡崎委員	人権については、顔を合わせて話すことが大事であるので、回数について検討をお願いしたい。
齊藤会長 渡辺委員 浅川課長 齊藤会長 柘川委員	今回広報紙をカラーでいただいたので、読みやすかった。来年もこのようにしてほしい。 紙ベースの配布は200部だが、増やせないか。 前は広報紙を白黒でいただいたので、今回はとても見やすかった。 カラーで部数を増やすと、予算的にはかなりかかる。 紙ベースで公民館等に置いた方が目につく。
浅川課長 柘川委員	良い広報紙ができたが、活用されないともったいない。第1号へのフィードバックやホームページの閲覧数がどのくらいあったか。LINEでの周知とあるが、2号・3号とフィードバックを追っていくと周知の状況がわかる。第1号の市民の反応にはどのようなものがあるか。
浅川課長 柘川委員	市民からの直接の反応は来っていない。閲覧数については確認する。 紙ベースを増やすという案もあるが、広報紙を置いたとき、どのくらいの人が手に取るか。高齢者の方はインターネットが使いがらみなので、紙ベースの方がよいという意見もある。市として閲覧数を追っていただければありがたい。

齊藤会長

小中学校・公民館等に設置、各種会議で配付とあるが、紙ベースで200部では少ないのではないかと。予算もあるが、増やしても良いのではないかと。

柘川委員

前回200部印刷して配付して、残っているものは回収するのか。

浅川課長

回収はしていない。ほとんどなくなっているため、余ったものが返ってくることはない。

齊藤会長

1か所に配付する部数を増やすために、200部より多く印刷することを検討していただきたい。市報と一緒に回覧するという方法も考えられる。来年度への課題ということで考えてほしい。

他にないか。ないようなので、以上をもって議事の(1)から(2)を終了したので、協議事項は終了となる。ご協力に感謝する。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6年 9月 23日

議長 の 署名

齊藤 俊明